

当院で分娩された患者さんの検体・情報を研究に利用すること についてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 妊婦の肥満と母児の周産期予後に関する検討

[当院の研究責任者] 糖尿病・内分泌代謝内科 的場 ゆか

[研究の背景]

妊婦の肥満は妊娠糖尿病や妊娠高血圧症候群を発症しやすくなることが分かっており、そのほかにも巨大児や帝王切開の頻度が多くなるなど、さまざまな周産期合併症が発症しやすくなるといわれています。2021年3月に妊婦の体格別の妊娠中至適体重増加量が日本産婦人科学会によって示されましたが、妊婦の体格と妊娠中の体重増加がどれほど周産期合併症と関係しているかは、未だ十分に検討されていないのが現状です。

[研究の目的]

本研究の目的は、妊婦の体格と周産期合併症の発症との関係を詳細に検討する事です。妊娠前体重や妊娠中の体重増加と疾患との関連への理解が深まり、今後のより適切な妊婦の体重管理、ひいては種々の母児の健康障害の回避につながることを期待しています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2009 年 1 月 1 日から西暦 2019 年 12 月 31 日の間に当院で分娩された妊婦さん

●研究期間：西暦 2022 年 9 月 1 日から西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

カルテ情報：

- ① 母体臨床所見(年齢、身長、妊娠回数、分娩回数、自然流産歴、胎数、非妊時体重、分娩時体重、既往歴、家族歴、生活歴(飲酒・喫煙)、糖代謝異常、妊娠高血圧症候群)
- ② 血液検査所見(血糖値、HbA1c、血中インスリン濃度、肝機能、腎機能、脂質代謝関連、凝固系、等)、尿検査所見
- ③ 周産期データ(分娩週数、分娩胎位、Apgar score、出生時身長、出生時体重、胎盤重量、産科合併症)

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

糖尿病・内分泌代謝内科 的場ゆか

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881